

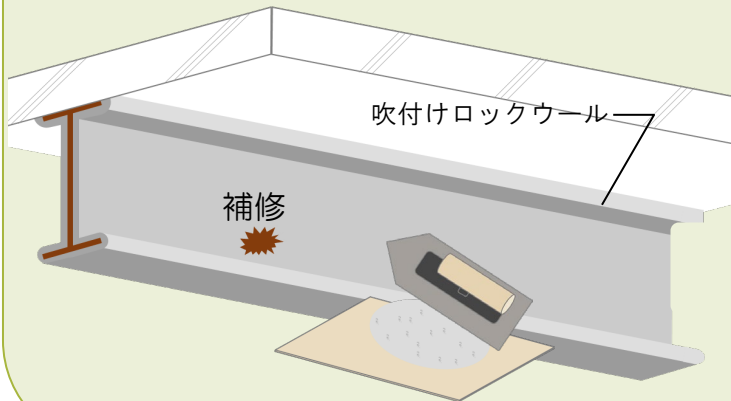
リペアウェット

リペアウェットは市場初の半乾式吹付けロックウール専用耐火補修材です。この補修材は、従来補修材として使用されていたコテ塗り材料ではなし得なかった吹付けロックウール被覆耐火構造認定と同等の配合組成と耐火性能を実現し、かつ、水練り補修材としての施工性を確保した吹付けロックウールに最適な補修材です。

特長

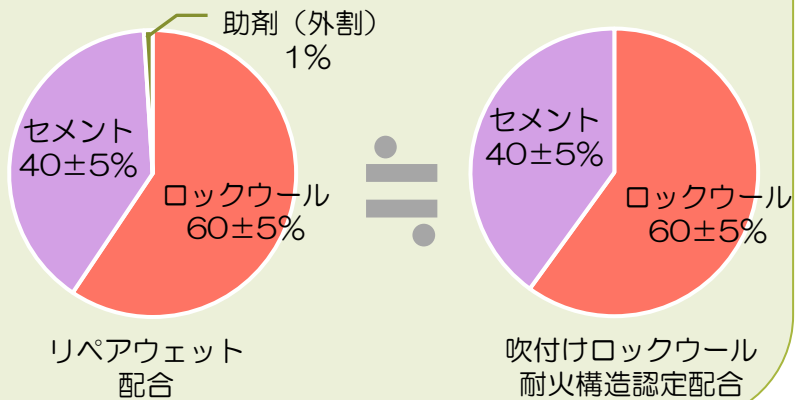
◎簡単コテ塗り施工

大がかりな機械を用意することなく、補修が可能です。



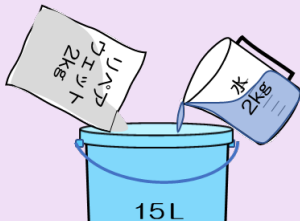
◎吹付けロックウールと同等配合

吹付けロックウール被覆耐火構造認定と同等配合なので、認定品と同質材料での補修が可能です。基材同厚さでの耐火性能も確認しています。

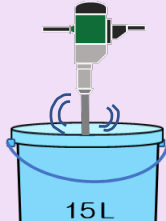


使用方法

①材料投入



②材料攪拌



【攪拌の目安】

練上がった容積が6～8リットル程度

※混練にはハンドミキサー（電動攪拌機）が必要です。



詳しい使用方法はこちら▲

基本性能

耐火性能	1, 2, 3時間の耐火性能確認【はり3時間耐火認定取得】
かさ密度※1	0.28 g/cm ³ 以上
仕上がり※2	グレー
熱伝導率※3	0.053 W/(m·K) (20℃)
付着性※4	24 kPa [母材破断]
荷姿	ビニル袋 (2 kg) ×5袋 段ボール箱入り

※1 耐火認定に基づく基準値です。

※2 製造ロットや施工条件等により色調が異なる場合があります。

※3 かさ密度0.28g/cm³における試験値であり、保証値ではありません。

※4 鋼板下地に対する付着試験平均値であり、保証値ではありません。



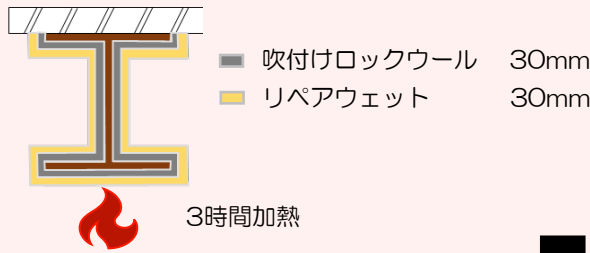
リペアウェット荷姿イメージ
※イメージであり、実際の製品とは異なることがあります。

耐火性能

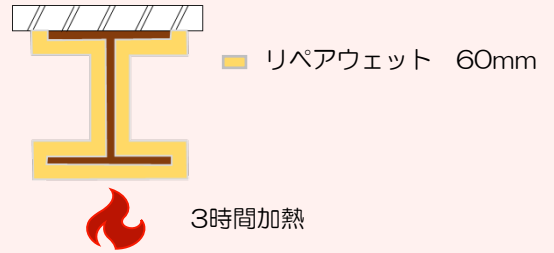
▶ 優れた補修適性と塗り重ね仕様の耐火性能

鉄骨に直接リペアウェットを塗付する補修と、吹付けロックウールの上にリペアウェットを塗り重ねた補修を想定して耐火性能を確認しました。【はり3時間加熱試験：社内試験】

塗り重ね補修



鉄骨直塗り補修



◀ 加熱後
被覆材の
脱落なし。



◀ 加熱後の塗り重ね部分
吹付けロックウールとリペア
ウェットの付着面に剥離なし。
良好な接着性を確認。

【加熱試験結果】 鋼材温度は、塗り重ね仕様よりも直塗り仕様の方が低く、リペアウェットが吹付けロックウール同等以上の優れた耐火性をもつことを確認

▶ 吹付けロックウール同等の耐火性能

吹付けロックウール被覆耐火構造認定のはり耐火1~3時間と同じ厚さでリペアウェットの耐火性能を確認しました。



▲ はり3時間荷重加熱試験 【はり3時間耐火認定取得】

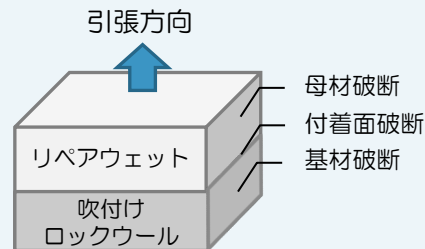
◀ はり1, 2時間加熱試験
はり3時間荷重加熱試験の鋼材温度以下, 有害な変形なし

【試験機関】 1, 2時間加熱試験：社内試験、3時間荷重加熱試験：(一財)建材試験センター

付着性能

▶ 吹付けロックウールとリペアウェット塗り重ね仕様の付着性能

基材水湿し※5	破断箇所	破断強度 (平均値) ※6	
		kPa	gf/cm ²
あり	基材	2.87	29.3
なし	基材	2.18	22.3



※5 基材水湿し：基材表面に水を噴霧して湿らせてから施工

➡ リペアウェットの付着性 >> 吹付けロックウールの基材強度

▶ リペアウェットの鋼板に対する付着性能

➡ 24 kPa (241gf/cm²) ※7

※6,7 試験平均値であり、保証値ではありません。

吹付けロックウール基材にも鋼板にも安心の付着力